

令和成4年度北九州市交通安全対策会議 議事録

■日 時：令和4年8月19日（金） 10:00～11:00

■場 所：北九州市役所本庁舎5階 特別会議室A

■出席委員：12名（敬称略）

会長：梅本（会長代理）

委員：東（小林委員代理）、川元（徳永委員代理）、光武（西田委員代理）、
古小路、平川、中村、小名川、有江、藤野、岸田、重國

■内 容：

1 開 会

2 挨拶
副市長

3 議 題

・令和4年度北九州市交通安全実施計画（案）について

審 議

審議の内容は以下、審議記録のとおり。委員の意見を踏まえ、令和4年度北九州市交通安全実施計画（案）について全会了承。

4 閉 会

審議記録（要旨）

○子どもの交通安全について

（委員）

子どもの交通事故の傾向を踏まえた交通安全教育が必要と考えるが、傾向について尋ねる。

（事務局）

小学校低学年の登下校時の事故が多くなっている。就学前に保育所等での交通安全教育が必要である。

（委員）

小学校、特に1年生を対象とした交通安全教室については、警察から小学校へ来てもらい仮設の信号機や横断歩道を用いて、道路の歩き方や横断歩道の渡り方などを中心にすべての小学校で実施している。

（委員）

近年子どもは、保護者の自家用車で移動することが多く、保護者と一緒に歩きながら交通ルールを学ぶ機会が減っているため、交通安全教室の必要性は年々高まっていると思う。

（事務局）

北九州交通公園では、実践的な交通安全教室を行っているので、活用して頂ければ、効果的な教育ができると思う。

（委員）

大型商業施設やコンビニエンスストアの駐車場などでの子どもの飛び出しによる事故もあるため、このような場面での安全教育も必要と考える。

（委員）

小学校入学時の健康診断の際なども、安全教育の機会にできると良い。

（委員）

地域の見守りに関するPTAの役割は大きいと思うが、任意加入が前提となるなど、PTAのあり方もここ数年で大きく変化しているが、今後も、交通安全に関して、PTA、学校、地域と3者で連携してやっていきたい。

○道路環境の整備について

（委員）

バリアフリー対応型信号機や歩道等のバリアフリー化について尋ねる。

（委員）

バリアフリー対応型信号機とは、ボタンを押せば歩行者用信号機の青の時間を延ばしたり、視覚障がい者用信号として誘導音が鳴るものなどがあり、障害者施設周辺の横断歩道などに優先的に設置している。

（事務局）

歩道等のバリアフリーは、段差の解消や連続性の確保など駅周辺を中心に整備して

いる。

(委員)

道路の陥没等 危険個所の維持補修について尋ねる。

(委員)

道路に危険個所がある場合には、道路管理者が修復することとなる。警察や道路管理者などがパトロールを行っているが、市民の方などが危険個所を発見した際には、警察や区役所、「道の相談室」へ連絡をして頂ければ、対応できる。

○交通安全啓発について

(委員)

歩車分離信号で、斜めの横断歩道がないのに斜めに渡っている人が多くみられる。歩車分離信号の渡り方についても啓発が必要である。

(委員)

宅配業者などスマホにイヤホーンをつけて、自転車を運転している方が多く見受けられる。何らかの対策が必要ではないか。

(委員)

宅配業者に対する自転車安全利用教育は、警察でも随時行っている。

(委員)

スマホに関わる交通安全教育については、スマホ業者にも参加して頂き、一緒に行うことが必要ではないか。

○交通事故の状況について

(議長)

交通事故の発生件数が年々減少するなど、良い傾向であるが、この数年間はコロナ禍で人や車の行き来が少なくなっていることが、起因していると考えられないか。

(委員)

社用車やタクシーの交通量に関しては、コロナ禍以前と比較すると半分程度と思う。コロナ禍の車両の減少が交通事故のデータに影響しているか分からないが、20数年前と比較すると、本当に北九州市は交通事故が少なくなったと思う。

(議長)

コロナ禍で交通事故が減っているという可能性もあるし、関係機関の交通安全対策の取組の効果が出ているとも考えられる。今後も引き締め直して交通安全に取り組んでいかなければならない。